

仙台まちづくり若者ラボについて

1 概要

若者自らが「自分ごと」として関わられるまちづくりに関するテーマを設定して「実践型プログラム（ワークショップ・フィールドワーク）」を実施し、その成果を発信・共有することにより、若者の視点やアイデアを様々なまちづくり主体（地域団体、市民活動団体、行政）が取り組む地域課題の解決や地域活性化に生かし、ひいては自発的なアクションを促し支援することにより、「主体的に動く若者」や将来の協働パートナーの発掘・育成を目指す。

2 参加者

29名（内訳）社会人17名 学生12名

3 これまでの取り組み

- 「働く」「楽しむ」「住む」「学ぶ」「守る」「共生する」の6つの暫定テーマを設け、参加者が志向する暫定テーマごとに6チームに分かれて活動を実施。
- 各チームに参加者と同年代のメンター（指導・相談役）を配置し、進捗管理や他団体との連携支援など、活動全般を伴走支援
- 市民活動サポートセンター地下「市民活動シアター」で全日程を実施。

■第1回ワークショップ（9月18日）

概要・趣旨説明、「取材・地域資源・課題の見つけ方」（TOHOKU360 代表 安藤歩美氏）講演の後、暫定テーマに関連するキーワード選定を行った。

■第1回フィールドワーク（9月19日～10月21日）

第1回ワークショップで共有したキーワードについて関係活動団体にヒアリング。

■第2回ワークショップ（10月22日）

第1回フィールドワークでの各チームの取材内容を共有し、「自分ごと」として具体的に取り組むための本テーマ決めと方向性を確認した。

■第2回フィールドワーク（10月23日～11月17日）

生活の中から自分自身の目線で興味関心をもったキーワードに関する実態調査。取材回数を増やして、より深く掘り下げを行うために2～3名ごとに分かれて取材する。

■第3回ワークショップ（11月18日）

最終報告会に向けた中間報告、他のチームとの意見交換（ワールドカフェ形式）。

■各チームの自主ワーク（11月19日～）

最終報告会に向けた準備や、必要に応じて追加フィールドワークを行う。

4 最終報告会（令和3年1月14日、仙台市市民活動サポートセンター地下）

チームごとに、取り組み成果のプレゼンテーションを行い、他の参加者や市長に報告を行う。

（※）一般来場者10名程度+YouTubeでの配信を想定

▼「仙台まちづくり若者ラボ」これまでの様子

